

令和7年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会 会議録

(司会：篠田生涯学習課課長)

1 会議の名称	令和7年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和8年3月30日(月) 14時00分～15時00分
3 開催場所	富津市役所 5階 502会議室
4 審議等事項	(1) 令和7年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2) 令和8年度事業計画(案)及び予算(案)について
5 出席者名	委 員 中山正之、荒井淳一、山下秋一郎、粕谷哲也、成川正憲、 平島敏一、石井一成、相川正和、池田文隆、水上恭男、 嶋野利郎 事務局 (調査団) 直井洋司、白鳥大祐 (富津市) 中山淳子、篠田優子、金木佑天、中村文洋 (君津市) 野村出、當眞紀子、朝倉唯
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	2人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市) 篠田課長	本日は何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の篠田でございます。よろしくお願いいたします。 会議に先立ち、金木主任主事から、お手元にお配りしました資料の確認を行います。
(富津市) 金木主任主事	お配りしました資料の確認をお願いいたします。 1 会議次第 2 委員名簿 3 席次表 4 委員会設置要綱 5 令和7年度事業の進捗状況 (天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書(途中経過)) 6 令和7年度予算執行状況 7 令和8年度事業計画書(案) 8 令和8年度事業予算(案) 9 サル生息状況調査結果のご報告 以上の <u>9</u> 点です。
(富津市) 篠田課長	それでは、令和7年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。 はじめに、出欠席の報告をさせていただきます。 本日の会議は、<u>出席委員 11 名、欠席委員 3 名</u>です。よって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しておりますことをご報告申し上げます。 なお、千葉県教育庁教育振興部文化財課、千葉県環境生活部自然保護課にオブザーバーに就任していただいておりますが、公務により本日欠席でございます。

	本日の会議は、富津市情報公開条例第 23 条第 1 項により公開となります。 会議終了後、会議録を作成し、富津市及び君津市のホームページにて公開いたします。 なお、本日の傍聴人は <u>2</u> 人です。 会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承ください。 委員の変更がございます。 君津市野生猿鹿猪等被害対策協議会清和支部長 <u>が</u> <u>根岸</u> 様に変更となっております。 続いて、委員長であります、中山富津市副市長から挨拶を申し上げます。
中山委員長	(委員長挨拶)
(富津市) 篠田課長	ありがとうございました。 ここからは、本委員会設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、議長を中山委員長にお願いします。
中山委員長	それでは、議長を務めさせていただきます。スムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。 議題に入る前に会議録署名委員を 2 名決めたいと思いますが、慣例により私から指名してよろしいでしょうか。
委員一同	(異議なしの声)
中山委員長	ご異議もないようですので、 <u>嶋野</u> 委員と <u>池田</u> 委員をお願いします。 では、議題に入ります。 議題 (1) 令和 7 年度事業の経過報告及び予算執行状況に

(君津市) 當眞主幹	ついて、事務局の説明を求めます。 令和 7 年度事業経過報告について説明いたします。 本資料は、令和 8 年 2 月 28 日現在での記載となっております。 1. 被害防止 (1) 電気柵 ① 維持管理 本事業対象の電気柵の点検・改修を行いました。 報告書に本事業対象電気柵の一覧がございます。また、電気柵の点検結果を掲載しております。 ② 改修 電気柵の改修は、富津市側が宇藤原地区の U23 を約 170m、君津市側が怒田沢地区の K8 および K23 を約 110m 実施しました。 (2) 被害実態調査 被害実態調査については、現在実施中です。 2. 生態調査と個体数管理 (1) 電波発信器装着のための捕獲 電波発信機を装着するための箱罟を合計 7 台設置いたしました。設置場所は富津市側、宇藤原地区 2 台、小倉地区 1 台、君津市側は西日笠地区 1 台、怒田沢地区 1 台、旅名 1 台、倉沢 1 台に設置いたしました。 その結果、2 月末の段階で 7 頭の捕獲がありました。捕獲個体には麻酔を施し、外部計測による交雑判定や血液サンプル採取を実施しています。 この捕獲個体のうち、2 頭に発信機を装着しております。 1 頭目は 2 月 5 日に君津市豊岡地区で捕獲した「クララ」で、GPS 発信機を装着。 2 頭目は 2 月 22 日に君津市田沢地区で捕獲した「ワカメ」で、こちらはアナログ型の VHF 発信機を装着しております。 形態による交雑判定は 7 頭全て該当なしで、ニホンザルと判断しました。 (2) 生態調査
-----------------------	--

(富津市) 金木主任主事	令和 7 年度の追跡対象は、小倉 A 群、旅名 A 群、クララ群、ワカメ群の 4 群です。 小倉 A 群は、発信器装着個体のキコの発信器の電池寿命によりアンの中の発信器追跡調査の結果になります 旅名 A 群のヒナは、7 月を最後に電波が確認できなくなりました。 2 月末の段階で、小倉 A 群、クララ群、ワカメ群の 3 群が追跡可能となっております。電波発信器装着個体は 3 頭となります。 小倉 A 群では、GPS 発信機を装着した個体「アン」の追跡により、これまでの行動域と比べて広範囲かつ高密度な誘導地点が確認され、要協議範囲の周囲を含む地域で行動が確認されました。 クララ群の行動域は、旅名 A 群の行動域とほぼ重なっており、同一の個体群である可能性が高いと見て、引き続き調査を継続いたします。 ワカメ群は 2 月 22 日に発信機を装着したばかりのため、3 月から調査を開始している状況です。 (3) 個体数管理 富津市農林水産課および君津市農政課の有害鳥獣駆除事業の情報をいただき、取りまとめる予定です。 3. 天然記念物指定地域の生息環境調査 富津市宇藤原地区で気温と降水量の計測を行っており、3 月末の集計と合わせて最終的に取りまとめる予定でございます。 以上で報告を終わります。 続きまして、令和 7 年度事業の経過報告及び予算執行状況について、ご説明申し上げます。 (歳入) <table><tr><td>委託料</td><td>4,473,000 円</td></tr><tr><td>(内訳)</td><td></td></tr><tr><td>富津市</td><td>2,460,000 円</td></tr></table>	委託料	4,473,000 円	(内訳)		富津市	2,460,000 円
委託料	4,473,000 円						
(内訳)							
富津市	2,460,000 円						

	君津市	2,013,000 円
	計	4,473,000 円
	(歳出)	
	報償費	
	謝金	6,000 円
	賃金	
	賃金	1,530,000 円
	(主任調査員	1,230,000 円)
	(調査補助員	300,000 円)
	旅費	
	交通費	276,200 円
	需用費	
	消耗品費	1,366,933 円
	(電気柵改修	980,000 円)
	(電気柵維持管理	32,153 円)
	(電波発信機 LT-01	46,200 円)
	(電波発信機 GPS	203,500 円)
	(捕獲用餌代	47,288 円)
	(麻醉薬・投薬器等	35,420 円)
	(事務用品・花火等	22,372 円)
	借上料	
	借上料	354,500 円
	(機器借上料	74,000 円)
	(箱わな借上料	123,200 円)
	(センサーカメラ借上料	134,750 円)
	(電波発信器受信器借上料	7,700 円)
	(GPS 首輪通信機器借上料	7,700 円)
	(PC 使用料	7,150 円)
	役務費	
	損害保険	7,705 円
	通信連絡	101,973 円
	(郵便代等	6,750 円)

	(センサーカメラ通信料 30,250 円) (GPS システム利用及び通信料 66,000 円) (PC ソフト使用量 4,473 円) 計 3,643,311 円 残額 829,689 円 以上、報告いたします。
中山委員長	ありがとうございました。 ただいまの説明について何かご質問等ございますか。
嶋野委員	機材、とりわけ箱わなの借上料についてお伺いします。 現在、年間十数万円の借上料が支出されていますが、市販品は 1 台当たり約 10 万円程度であることから、複数年にわたって使用することを考慮すると、購入した方が費用対効果が高いのではないかと考えます。借上げによる運用について、改めて検討する必要があるのではないのでしょうか。 また、センサーカメラ等の設置作業は山間部で行われるため、多くの労力を要するものと思われます。地域の実情に詳しい地元住民の協力を得ることができれば、より効率的な運用が可能になると考えますが、その点についてどのようにお考えでしょうか。
(調査団) 直井	現在、機材を 7～8 台使用しており、購入には 1 台 10 万円に加え、メンテナンス等の費用が発生するため、現時点では借り上げ形式をとっております。しかし、委員からのご指摘の通り、毎年高額な費用をかけるのであれば、購入の検討や借り上げ料の見直しを含めた、より効率的な運用方法について、今後の予算執行を見据え検討を進めてまいります。
嶋野委員	ご検討お願いします。

(富津市) 篠田課長	予算の方で検討いたしまして、次回に生かしたいと思えます。
中山委員長	他にいかがですか。
池田委員	本事業が開始された約 46 年前には、イノシシやシカによる被害は見られたものの、市街地まで出没する状況ではありませんでした。当時の報告書によると、電気柵の高さは 60 センチ程度であり、画期的な対策として評価されていた時期もあったと認識しています。 しかしながら、その当時と比較して現在の状況は大きく変化しており、今後の事業の方向性について検討する必要があると考えます。電気柵についても、南側を中心に整備が進んでいる一方で、設置から 20 年以上が経過している箇所もあり、老朽化への対応が課題となっています。 また、富津市及び君津市が今後どのように事業を継続していくのか、電気柵の改修費用をどのように負担していくのかについて、両市で協議していく必要があると考えます。単に安全対策としてだけでなく、今後の活用や維持管理のあり方についても検討が求められると思います。 さらに、本事業は 46 年間継続されており、累計では多額の予算が投入されています。事業の将来的な方向性について検討する時期に来ていると考えます。今後どのように事業を継続していくのか、あるいは見直しを行う場合にはどのような形で進めていくのかについて、調査団からも積極的な提案をいただきたいと思います。 直ちに結論を求めるものではありませんが、今後の検討課題としてご対応いただくようお願いいたします。
中山委員長	貴重なご意見として承ります。ありがとうございます。他にいかがですか。
水上委員	質問なのですが、VHF 型と GPS 型があり、VHF 型は電池切れということでした。これは GPS 型にも起こることなのでし

	ようか。 どちらの発信機も電池を内蔵しているため、使用期間に応じて電池交換または更新が必要となります。 現在使用している VHF アナログ型発信機の電池寿命は、おおむね 2 年半から 3 年程度です。一方、GPS 型発信機については、位置情報の取得頻度や電波の発信間隔を個別に設定できるため、設定内容によって電池寿命が大きく変動します。 例えば、設定によっては約 1 年程度で電池を消耗する場合もあれば、約 5 年間使用できる場合もあります。ただし、メーカーからは、おおむね 1 年から 2 年程度で運用する設定が推奨されています。
水上委員	例えば、設定が終了した時点で、その発信機が自動で外れるということはないのですか。
(調査団) 白鳥	GPS 型は、こちらから遠隔操作で外すことができます。アナログ型はそれができないので、ただつけっぱなしにするとサルに負担がかかりますので、首輪のつなぎ合わせのところに、皮を工夫して、自然に切れて落ちるような仕掛けを施しています。
水上委員	わかりました。動物福祉という点も考慮する時代となっておりますので、その点で気になりました。ありがとうございます。
中山委員長	ほかにご質疑もないようなので、議題（１）令和 7 年度事業の経過報告及び予算執行状況について、ご承認頂ける方の挙手をお願いいたします。
委員一同	（全員挙手）
中山委員長	ありがとうございます。挙手全員でございますので本件は承認されました。

(君津市) 當眞主幹	続きまして、議題（２）に移ります。 議題（２）令和８年度事業計画（案）及び予算（案）について事務局の説明を求めます。 ・令和８年度事業計画（案）についてご説明いたします。 本事業は、事業主体を管理団体であります富津市及び君津市とし、天然記念物高宕山のサル生息地のサルによる被害防止管理事業調査団を委託先とします。 経費 ４,４７３,０００ 円 内訳 富津市 ２,４６０,０００ 円 君津市 ２,０１３,０００ 円 期間 令和８年４月１日から令和９年３月３１日 事業内容は、 (1)被害防止策 (2)生態調査と個体数管理 (3)天然記念物指定地域の生息環境調査 成果品は、報告書と精算書を年度末までに提出することとします。 事業内容の詳細については、令和７年度の事業計画と変更部分をご説明いたします。 (3)天然記念物指定地域の生息環境調査 令和８年度は環境改善の調査をする年になりますので、気温や降水量の測定等を行います。この環境改善の調査につきましては、各年度で実施しておりますことをお伝えいたします。 事業計画（案）については以上です。
(富津市) 金木主任主事	続きまして、私の方から令和８年度の予算（案）についてご説明いたします。 (歳入) 委託料 ４,４７３,０００ 円 (内訳)

	富津市	2,460,000 円
	君津市	2,013,000 円
	計	4,473,000 円
	(歳出)	
報償費	謝金	48,000 円
賃金	主任調査員	1,350,000 円
	調査員	20,000 円
	調査補助員	512,000 円
旅費	交通費	300,000 円
	費用弁償	3,960 円
需用費	電気柵改修費	1,131,000 円
	電気柵維持管理	150,000 円
	電波発信機	
	・ LT-01	46,200 円
	・ GPS	203,500 円
	捕獲用餌代	44,000 円
	麻酔薬・投薬器等	50,600 円
	その他消耗品	52,760 円
借上料	機器借上料	102,000 円
	箱わな借上料	140,800 円
	センサーカメラ借上料	154,000 円
	GPS 首輪通信機器借上料	13,200 円
	電波受信器借上料	13,200 円
	PC 使用料	9,960 円
役務費	損害保険料	8,000 円
	郵便代等	10,920 円
	センサーカメラ通信料	33,000 円
	GPS システム利用及び通信料	66,000 円
	PC ソフト使用量	9,960 円
	計	4,473,000 円
中山委員長	ありがとうございました。 ただいまの説明について何かご質問等ございますか。	

嶋野委員	昨年度、富津市側の現地を中山部長及び篠田課長に視察していただきました。現地の状況をご確認いただいた上でのご所感をお伺いしたいと思います。
(富津市) 中山部長	現地を視察した際には、本事業の調査団による活動だけでなく、地域住民の方々が自ら電気柵を設置し、農地の保全に取り組まれている状況も確認いたしました。 サルによる被害の深刻さについては十分認識しておりますが、一方で、既に耕作されていない農地も見受けられました。 先ほど池田委員からもご発言がありましたとおり、地域を取り巻く状況は変化していることから、今後の事業のあり方や対策について検討していく必要があると認識しております。 以上です。
(富津市) 篠田課長	先ほど池田委員からご発言がありましたように、君津市側では主に耕作地を対象として電気柵を設置しているのに対し、富津市側では地区全体を囲う形で電気柵を整備しています。 実際に現地を視察したところ、山間部で起伏が多く、電気柵の設置や維持管理には大変な労力を要する状況であることを確認しました。また、住民の方々が周辺の伐採作業を行うなど、サルの侵入防止に向けた対策にも取り組まれていました。 このような状況を踏まえると、電気柵の維持管理には継続的な負担が伴うことから、今後の管理体制や事業のあり方について検討する必要があると感じました。 以上です。
嶋野委員	ありがとうございました。 本事業では、当初から集落全体を囲うことを基本方針とし、地域住民の協力を得ながら緩衝帯の整備を進めてきまし

中山委員長	た。設置から長期間が経過しており、十分な機能を果たせていない電気柵もある状況です。 私は昨年度の委員会においても、予算編成に当たり、電気柵の維持管理や更新のための予算確保について検討をお願いしたところです。現時点で予算の増額を求めるものではありませんが、こうした課題があることから申し上げております。 また、耕作放棄地の増加や高齢化による営農意欲の低下が進む中、現状のまま事業を継続することが適切かどうかについても検討が必要であると考えます。君津市側の状況も踏まえながら、富津市においては電気柵の維持管理や更新のための予算を現在より拡充していただきたいと考えております。 なお、本件について回答は求めません。 他にいかがですか。
(調査団) 直井	先ほど嶋野委員からご発言があった内容について、事務局と十分な協議が行われた上でのものではないことを前提としてお話しします。 先ほど池田委員からもご発言がありましたように、君津市側においても状況は大きく変化しています。今後、本事業をどの程度継続していくのか、その見通しをどのように立てるのか、また事業内容をどのように見直していくのかについては、新年度において十分な検討が必要であると考えます。 その中では、電気柵の整備延長や整備目標、整備完了時期の設定、さらには捕獲用おりの運用方法などについても、具体的な検討を進める必要があります。 今回このような発言をしたのは、事業を取り巻く状況が変化する中で、事業内容や予算のあり方について見直しを求める意見があったことを踏まえたものです。現在提案されている令和8年度予算案は、令和7年度と大きく変わらない内容となっていますが、今後事業の方向性を見直す必要があるのであれば、次回の新年度第1回委員会までに一定の方向性を示すことが必要ではないかと考えます。

(富津市) 篠田課長	そうでなければ、次年度以降の予算についても現状と大きく変わらないまま推移することが懸念されます。 この点は事務局の課題でもあると思いますので、今後は事務局と調査団がこれまで以上に連携し、事業の方向性や将来像について検討を深めていただくようお願いしたいと思います。 今のご指摘なのですが、次回の会議までにとのことですが、事務局の方で協議させていただきたいと思います。以上です。
中山委員長	はい、よろしくお願いします。他に何かご意見等ございましょうか。 ご質疑もないようなので、議題（２）令和８年度事業計画（案）及び予算（案）について、ご承認頂けますでしょうか。承認いただける方の挙手をお願いします。
委員一同 中山委員長	（全員挙手） ありがとうございます。挙手全員でございますので本件は承認されました。 続きまして、その他について、委員の皆様、何かございますか。
(富津市) 金木主任主事	ないようですので、事務局、何かございますか。 本日、オブザーバーが欠席ではございますが、千葉県環境生活部自然保護課より、千葉県事業の状況等について情報のご提供をいただきましたのでご報告いたします。 千葉県自然保護課からの報告によりますと、令和７年度は、令和８年度の計画改定に向けた群れの一斉把握調査として、サル出没カレンダー調査や交雑広域モニタリングのための写真及びデータ収集を実施しており、サル生息域周辺の市

篠田課長	
-------------	--